

## 70周年記念 未来人材育成事業 オンライン研究会報告

### 「バイオメカニクス研究における方法論に関する議論」

開催日時：2026年3月9日 16:00~18:00 於、オンライン

参加者数：51名

概要：

第3回のオンライン研究会は、「方法論に関する議論」をテーマとして開催されました。塩谷先生（早稲田大学）からは骨格筋・筋組織を対象とした超音波測定について、飯竹先生（福岡大学）からはインパクトバイオメカニクスにおけるフィルター処理について、岩崎（阪南大学）からはフットウェアバイオメカニクスの留意点についてそれぞれ話題提供が行われました。各話題における基礎的な知識や留意点の一部は教科書や論文にも記載されていますが、本研究会では論文には必ずしも記載されないような現場での工夫や測定に関する実践的なノウハウ、あるいは「熟練の技」にまで踏み込んで議論がなされました。これにより、研究の基盤となる方法論の重要性について改めて確認する機会となりました。また、研究会で取り上げられた方法論的な話題については、議論にとどまらず、ワークショップ等を通じて実際に体験しながらノウハウを共有・習得していく機会を設けることの重要性についてもディスカッションされました。科学研究において再現性は極めて重要な要素であり、その基盤をなす方法論は広く共有されるべきものです。本研究会が健全な科学研究を促す契機となり、研究会にとどまらないさらなる議論や取り組みにつながる機会となっていれば幸いです。最後に、ご発表およびご参加いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

なぜ方法論？

領域横断的

多岐に渡る方法論のあり方について議論を深めたい

Faculty of Sports and Fukui University

サッカーのキック動作を題材としたインパクトにおけるデータ処理方法

飯竹 烈士  
福岡大学 スポーツ科学部

Fukuoka University 2026.03.09

日本バイオメカニクス学会 70周年記念 未来人材育成事業 オンライン研究会  
第3回 バイオメカニクス研究における方法論に関する議論 2026年3月9日

骨格筋・腱組織を対象とした  
超音波測定に関する方法論の紹介

塩谷 彦人  
早稲田大学スポーツ科学学術院 講師（任期付）

フットウェアを対象とした  
バイオメカニクス研究の留意点

岩崎 領（阪南大学）

研究会の趣旨に関する説明と各登壇者の発表の様子

コーディネーター：岩崎 領